

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	A型就労サポート「ひまわり」	事業所番号	2610381481
住 所	京都市中京区聚楽廻東町15-1グラウンドモール聚楽2階	管理者名	大川照美
電話番号	075-813-0205	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 同志社大学、源氏藤袴会(行願寺、下御霊神社)、京都三条ラジオカフェ、旅館、A型就労サポート「ひまわり」他

実施日程 令和6年4月～令和7年3月

実施した生産活動・施設外就労の概要

①昨年度に引き続き、同志社大学プロジェクト科目として、同大学生、教員とともに、障がい者の就労を支援する「広報」と「商品開発」を実施した。

②①の連携企業等として広報では「京都三条ラジオカフェ」、商品開発では「源氏藤袴会」「旅館三賀」「日昇別荘」と連携した。

③「広報」では、利用者、就労現場である旅館の女将、「ひまわり」のサビ管が出演するラジオ番組を3本製作し、障がい者就労への理解促進を図り、商品開発では、利用者が企画した「藤袴入浴剤」「藤袴のお香」を製作し、旅館と華堂行願寺での販路開拓を行った。

利用者数 10人

<目的>

地域連携活動のねらい A型就労継続支援事業所への理解促進による障がい者就労の拡大と新しい商品開発と販売・販路拡大による収益増。

地域にとつてのメリット 障がい者の社会参加拡大と、「フジバカマ」を活用し、京都の新しい土産を障がい者と産学連携により企画制作した京都らしい取組のアピール及び観光活性化への新しい土産(フジバカマ入浴剤とお香)の投入。

対象者にとってのメリット 自身の思いなどを声に出すことや、学生や企業等と共同して何かに取り組むことにより、円滑な人間関係づくりやコミュニケーション能力の向上など。

<成果>

実施した結果 広報では「ラジオ番組」をオンエア。商品は「入浴用フジバカマ」を製作し、イベントで試験販売と商談。今後旅館での取り扱いが内定。

得られた成果 障がい者の社会参加や自己実現に繋がった。また、事業所として新しい商品製作による収入増が期待できる。

課題点 令和5～6年度継続で、ある程度「商品化」の目的が立ち、販路も開拓できた。今後も地域団体や企業と連携し、より付加価値の高い商品の開発が必要。また、ラジオによる啓発は一定の効果はあったが、ラジオがポッドキャストで長く聴取できるので、SNS等で周知していく必要がある。

<活動の様子>



商品開発成果品「入浴用藤袴」



京都三条ラジオカフェでの番組企画会議



行願寺での「藤袴祭」における商品テスト販売の風景



同志社大学での学生との商品企画会議



A型就労サポート「ひまわり」での商品試作品の検討と製作の様子



新商品「藤袴のお香」試作品

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

これまでなかった、障がい者による商品企画・商品開発まで踏み込むことが出来、新しい商品の幅と、販路拡大が期待出来る。

今後の連携強化に向けた課題

令和7年度も連携し、京都地域の観光活性化に寄与する土産の開発と販売、京都原種の藤袴の保全と育成まで、発展させたい。

連携先企業名	源氏藤袴会	担当者名	会長 馬場備子
--------	-------	------	---------